まちと人の想いが交わる情報交差点
広報こうさ
2023 August No.649

Kosa Style
こうさ スタイル

長田 翠さん
Nagata Midori
〔津志田区〕

ながた みどり / 令和３年４月、23歳で就農。町内でオクラ、ピーマン、ナス、パプリカを育てる若手農家。

幼い頃から親しんだ田園風景を未来へつなぎたい

「私の農業での取り組みが、このまちの田園風景を守る一助になれば」と話すのは令和3年4月から甲佐町で農業を営む長田翠さん（25歳・津志田区）。

両親が兼業で農家を営んでおり、小さいころからあたり前のように田植えや麦、大豆の種まきなど家業の手伝いをして育ったという長田さん。進路も農業関係の大学に進み、農業を仕事にすることは自然な流れだった。「大学で学ぶなかで県内の耕作放棄地の増加の問題を知り、実家が持つ余った農地のことを気に掛けていましたのでこの町で就農することには迷いはなかったです」と話す。

甲佐町は園芸や稲作が盛んで、野菜農家が少ないと感じ、長田さんは野菜での就農を決意。1年目はピーマンから始め、3年目の現在は、オクラ、ナス、パプリカに栽培品目を変更した。「土地に合った野菜を見つけるために試行錯誤しています。うまく育たないことも多々あります。だからこそ大きくて美味しい野菜が採れたときはとても達成感を感じます」とほほ笑む。

長田さんは、1年目は農協だけに出荷していたが、自分が生産した商品についてお客様の声をもっと近くで聞きたいと、2年目からスーパーでの販売を開始した。「実際にスーパーに電話し、野菜を置いてもらえるよう交渉しました。価格設定も自分でしなければいけないので、最初のころは難しかったですが、今は自分なりに周りのお店の野菜の値段や売れている状況を調べ、価格を決定しています。野菜は価格の変動が大きいため、日々情報収集は欠かせません」と売上分析を通じ、経営力の向上に努めている。

個人事業主として収穫から出荷まで全ての工程を一貫して1人で行う長田さん。「この仕事は自分のペースで働くことができるので私に合っています。困ったときは両親が近くにいますし、役場や農協もサポートしてくれるので心強いです。農業は工夫次第で1人でもできるので、私と同じように若い就農者や女性がもっと増えたらいいなと思います」と慣れ親しんだこのまちの緑ある風景を未来へつないでいくために、長田さんはこれからも農業と共に歩みを進める。

▲自身で育てたオクラを収穫する長田さん

発行 甲佐町
発行人 甲佐町長 奥名克美
編集 企画課
TEL 096-234-1111（代表）
FAX 096-234-3964
URL https://www.town.kosa.lg.jp/

UD FONT by MORISAWA